

## Ⅲ. 調査結果の分析

### 1. 「住みごころ」について

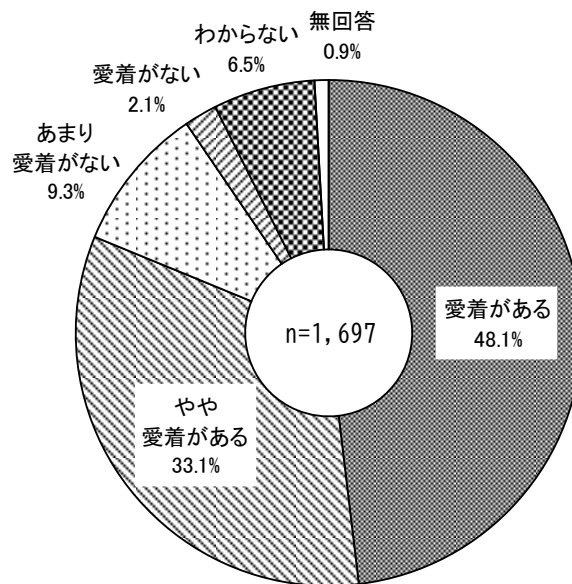
#### (1) 船橋市への愛着

船橋市に、『愛着を持っている』人は8割超

【問1】「船橋市」に愛着を持っていますか。(〇は1つ)

船橋市に愛着を持っているかの質問に、「愛着がある」の割合は48.1%と約半数の人が回答している。「やや愛着がある」(33.1%)を合わせた『愛着を持っている』人の割合は、81.2%と8割を超えている。

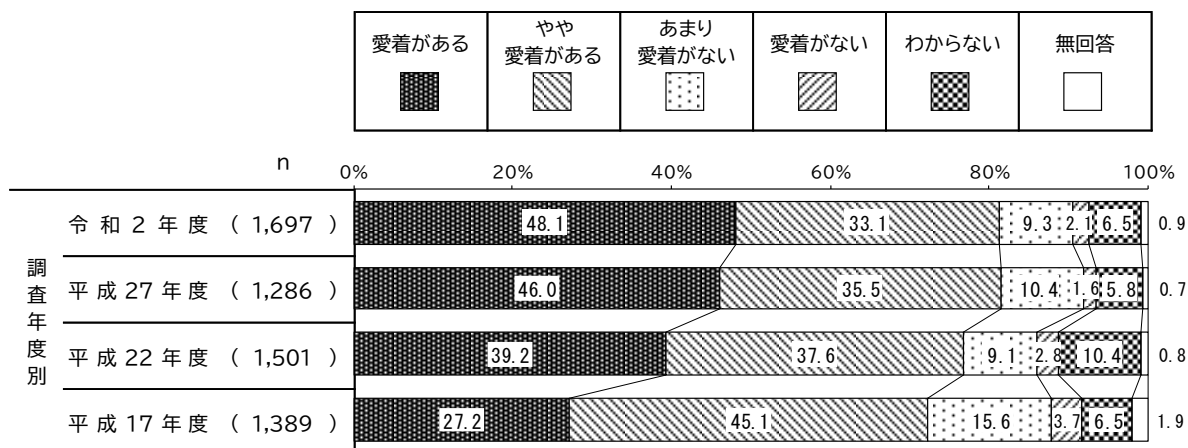
一方、「あまり愛着がない」(9.3%)と「愛着がない」(2.1%)を合わせた『愛着を持っていない』人の割合は、11.4%で1割を超えている。



図Ⅲ－1 船橋市への愛着

【時系列比較】

時系列で比較すると、「愛着がある」人の割合(48.1%)は年々高くなり、平成27年度(46.0%)から2.1ポイント増加している。

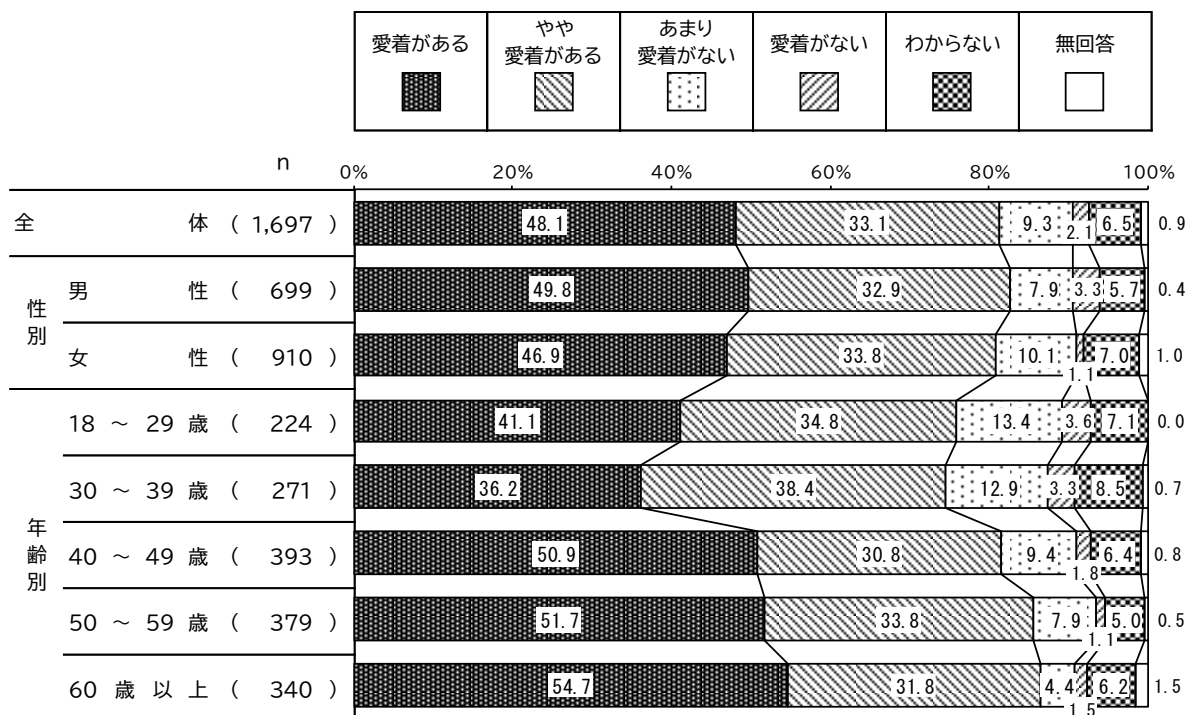


図Ⅲ-2 船橋市への愛着（時系列比較）

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「愛着がある」と「やや愛着がある」を合わせた『愛着を持っている』人の割合は、男性(82.7%)が女性(80.7%)より2.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『愛着を持っている』人の割合は、60歳以上(86.5%)、50～59歳(85.5%)、40～49歳(81.7%)で8割を超えている。

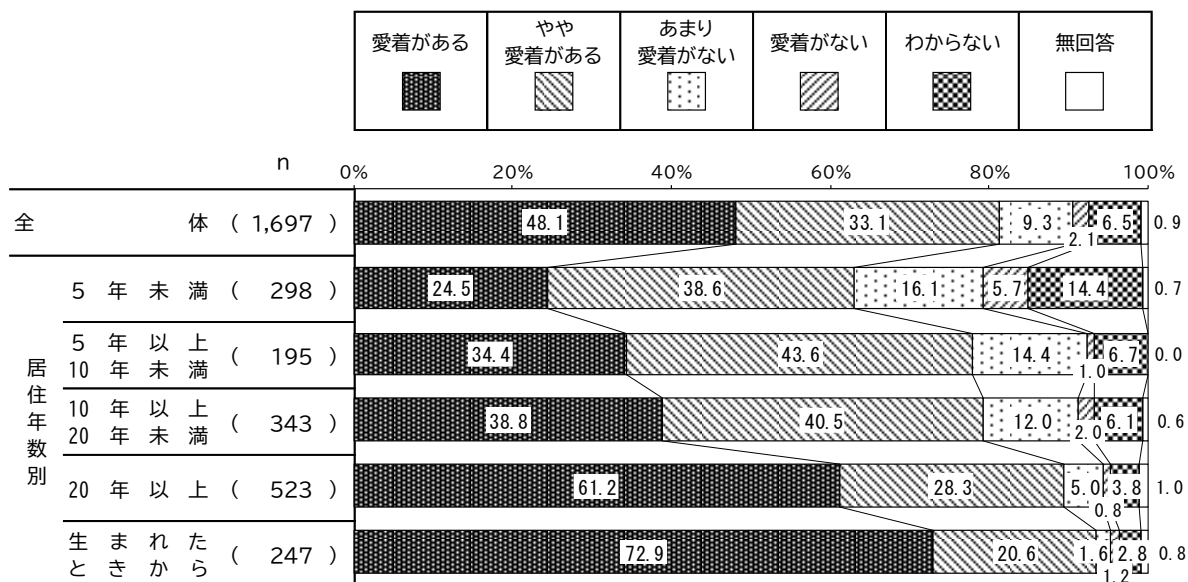


図Ⅲ-3 船橋市への愛着（性別／年齢別）

【居住年数別】

居住年数別にみると、「愛着がある」と「やや愛着がある」を合わせた『愛着を持っている』人の割合は、「生まれたときから」（93.5%）が最も高く9割を超えている。

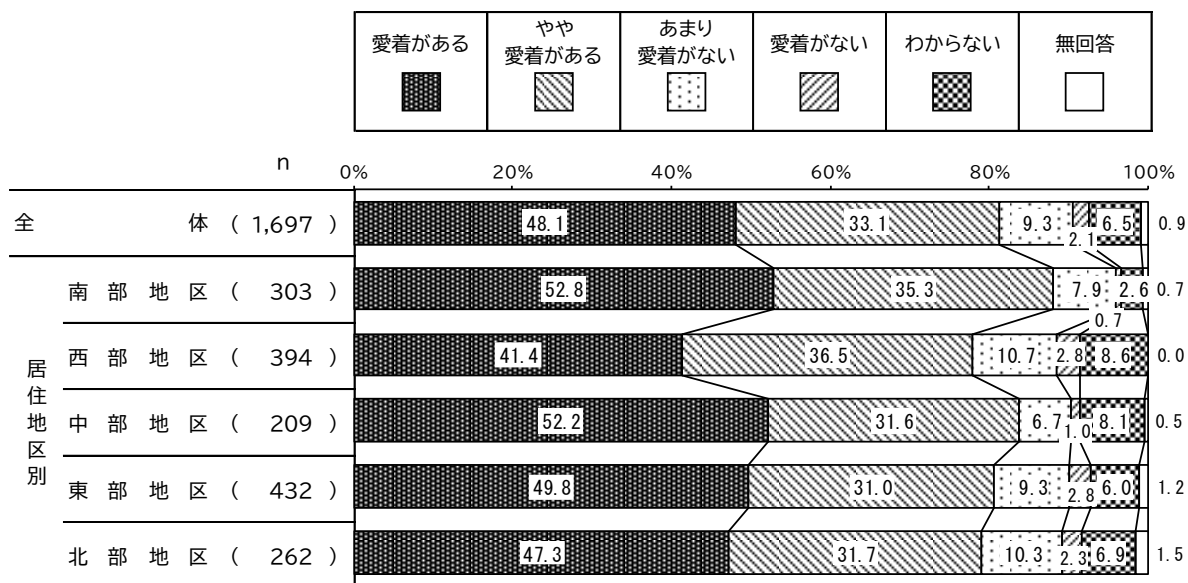
居住年数だけで比べると、居住年数が長いほど『愛着を持っている』人の割合が高く、最も高い「20年以上」（89.5%）と最も低い「5年未満」（63.1%）の差は26.4ポイントある。



図Ⅲ－4 船橋市への愛着（居住年数別）

【居住地区別】

居住地区別にみると、「愛着がある」は、南部地区（52.8%）、中部地区（52.2%）で5割を超えており、「愛着がある」と「やや愛着がある」を合わせた『愛着を持っている』人の割合は、南部地区（88.1%）、中部地区（83.8%）、東部地区（80.8%）で8割を超えている。



図Ⅲ－5 船橋市への愛着（居住地区別）

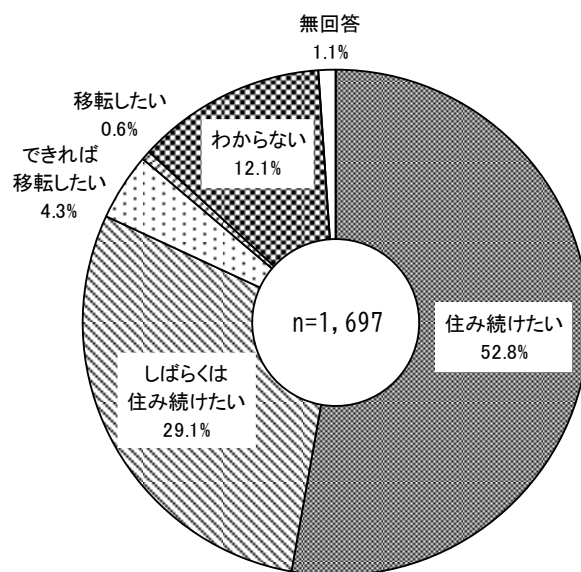
(2) 船橋市への定住意向

船橋市に、『住み続ける』人は8割超

【問2】今後も「船橋市」に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

今後も船橋市に住み続けたいと思うかの質問に対し、「住み続けたい」(52.8%)と「しばらくは住み続けたい」(29.1%)を合わせた『住み続ける』人の割合は、81.9%と8割を超えている。

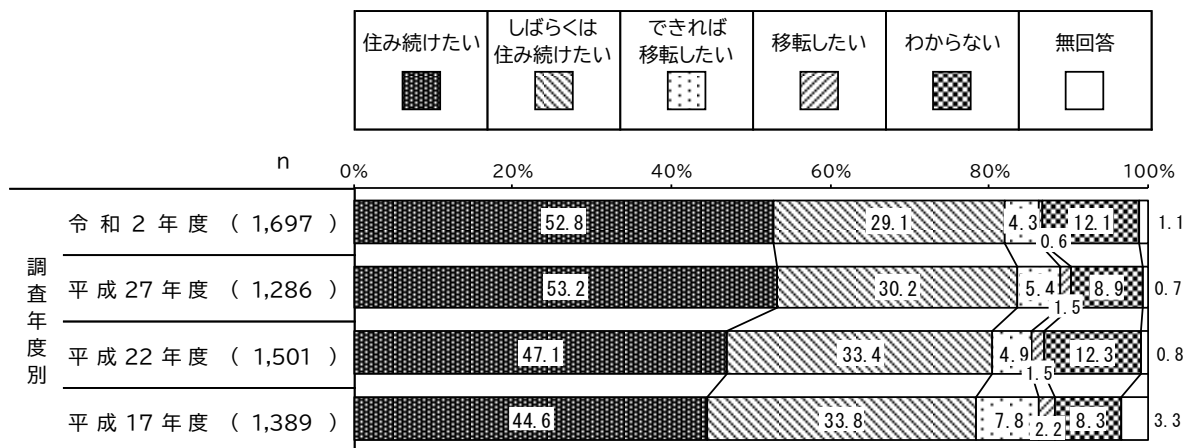
一方、「できれば移転したい」(4.3%)と「移転したい」(0.6%)を合わせた『移転する』の割合は、4.9%となっている。



図Ⅲ－6 船橋市への定住意向

【時系列比較】

時系列で比較すると、「住み続けたい」と「しばらくは住み続けたい」を合わせた『住み続ける』人の割合（81.9%）は、平成27年度（83.4%）と比べ1.5ポイント減少しているが、8割は超えている。

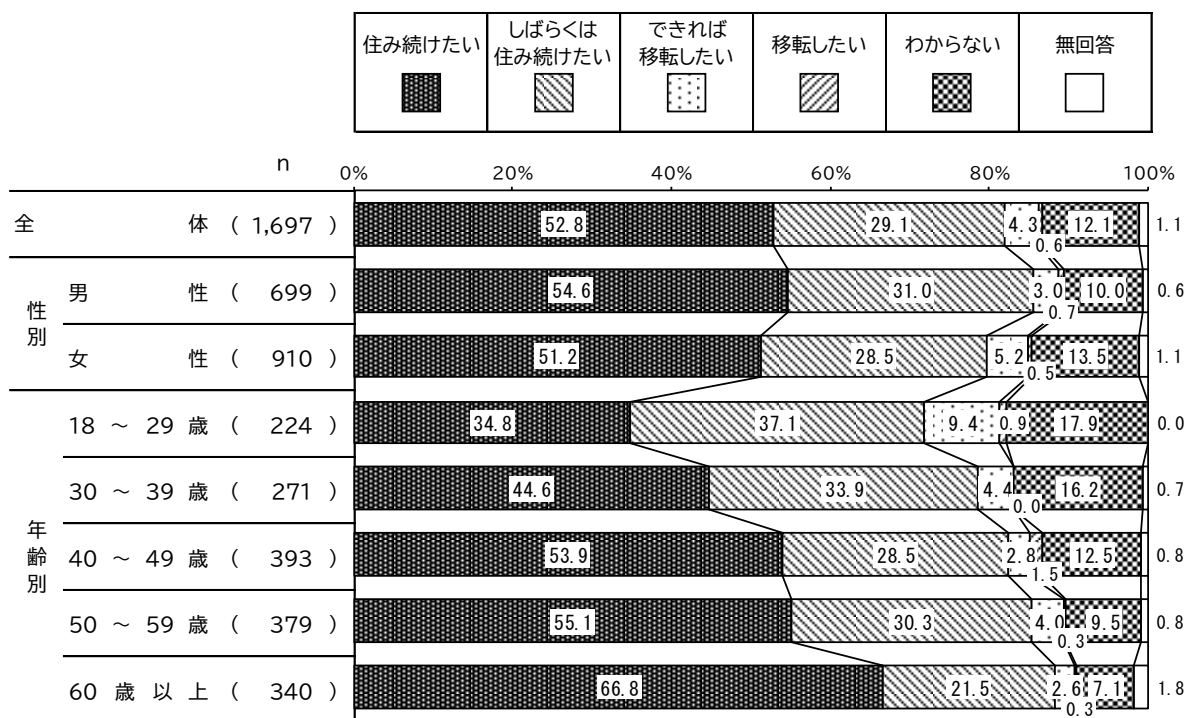


図Ⅲ-7 船橋市への定住意向（時系列比較）

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「住み続けたい」と「しばらくは住み続けたい」を合わせた『住み続ける』人の割合は、男性（85.6%）が女性（79.7%）より5.9ポイント高くなっている。

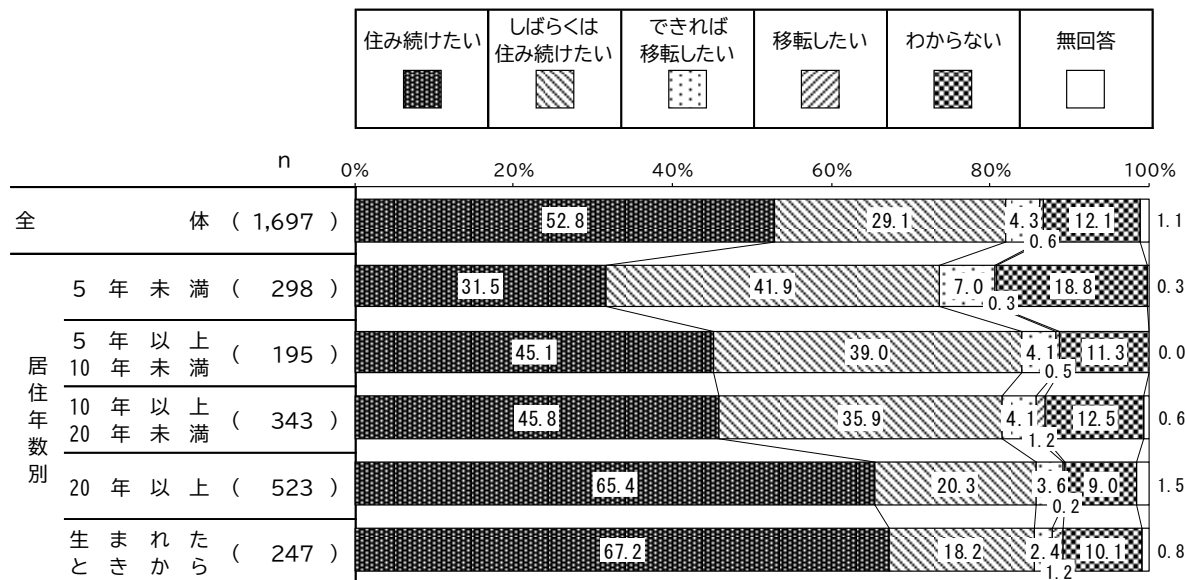
年齢別にみると、『住み続ける』人の割合は、18～29歳（71.9%）と30～39歳（78.5%）を除いて、8割を超え、「住み続けたい」でも60歳以上（66.8%）、50～59歳（55.1%）、40～49歳（53.9%）は、5割を超えている。



図Ⅲ-8 船橋市への定住意向（性別／年齢別）

【居住年数別】

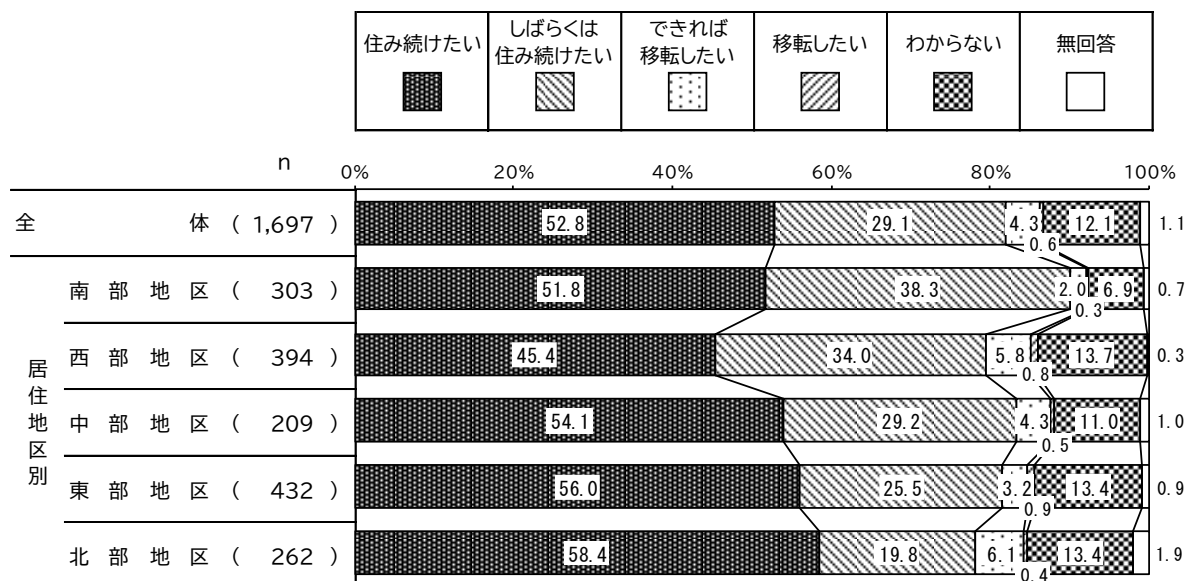
居住年数別にみると、「住み続けたい」と答えた割合が、生まれたときから（67.2%）、20年以上（65.4%）で高く、「住み続けたい」と「しばらくは住み続けたい」を合わせた『住み続ける』人の割合は、5年未満（73.4%）を除き、81.7%～85.7%の範囲にあり8割を超えている。



図Ⅲ－9 船橋市への定住意向（居住年数別）

【居住地区別】

居住地区別にみると、「住み続けたい」は西部地区（45.4%）を除く全ての地区で5割を超え、なかでも北部地区（58.4%）で最も高く、「住み続けたい」と「しばらくは住み続けたい」を合わせた『住み続ける』人の割合では、南部地区（90.1%）が9割となっている。



図Ⅲ－10 船橋市への定住意向（居住地区別）

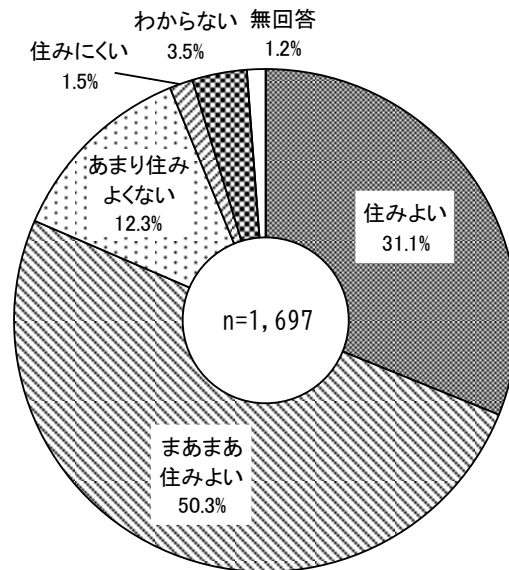
(3) 船橋市の住みごころ

船橋市を、『住みよく思う』人は8割超

【問3】「船橋市」を住みよいまちと感じていますか。(〇は1つ)

船橋市の住みごころを聞いたところ、「住みよい」(31.1%)と「まあまあ住みよい」(50.3%)を合わせた『住みよく思う』人の割合は、81.4%と8割を超えている。

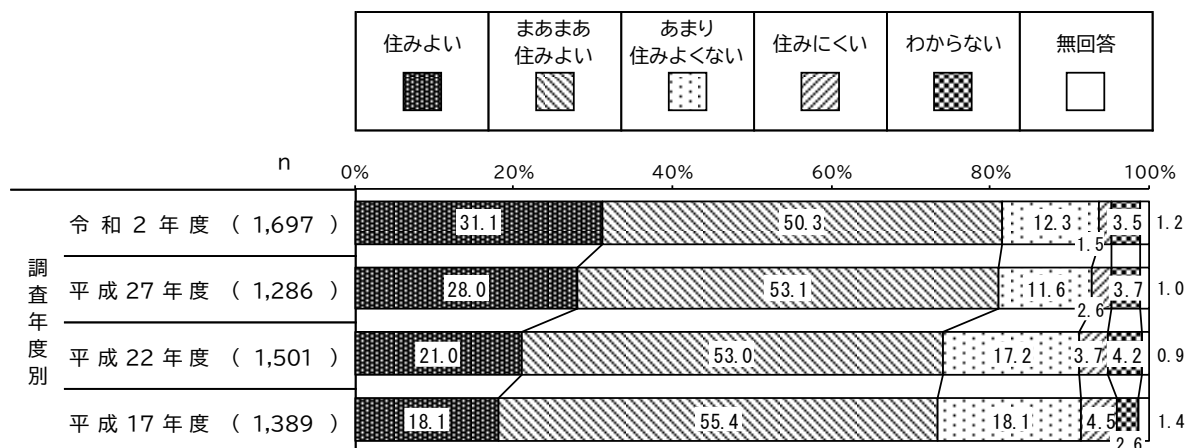
一方、「あまり住みよくない」(12.3%)と「住みにくい」(1.5%)を合わせた『住みよく思わない』人の割合は、13.8%となっている。



図Ⅲ－11 船橋市の住みごころ

【時系列比較】

時系列で比較すると、「住みよい」と思う人の割合（31.1%）は、年々高くなり、平成27年度（28.0%）と比べると3.1ポイント増えている。

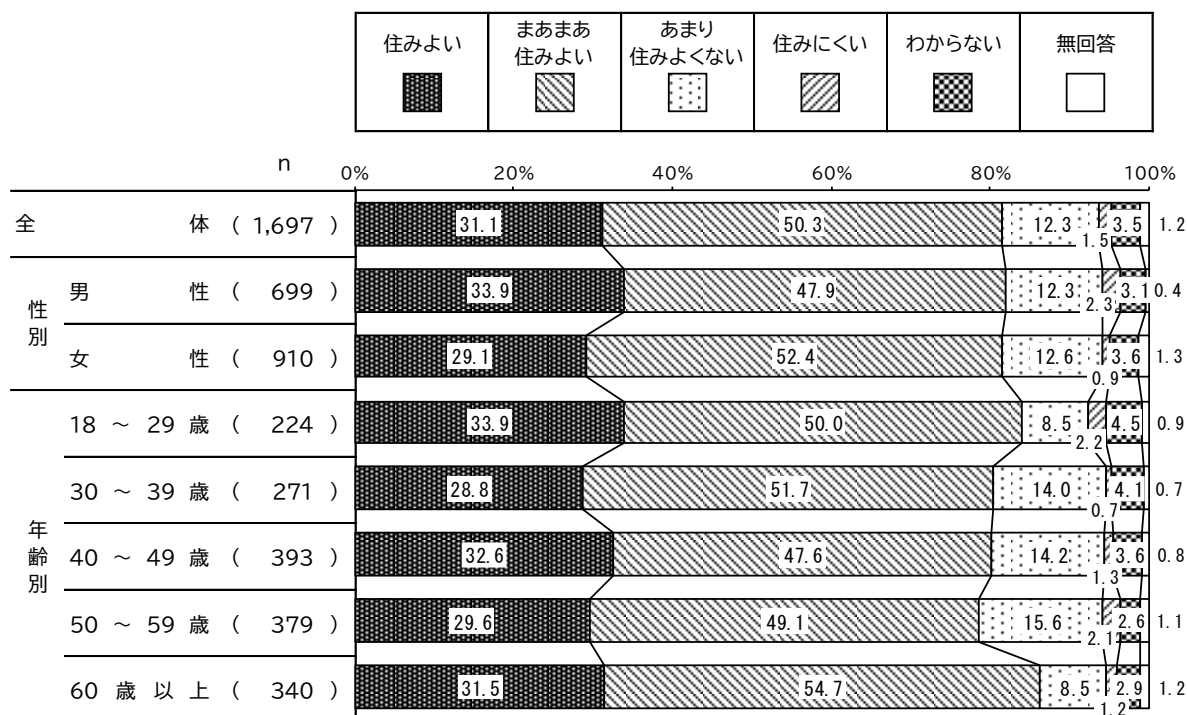


図Ⅲ－12 船橋市の住みごち（時系列比較）

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「住みよい」と「まあまあ住みよい」を合わせた『住みよく思う』人の割合は、男性（81.8%）、女性（81.5%）でおおむね変わらない。

年齢別にみると、『住みよく思う』人の割合は、60歳以上（86.2%）が最も高く、50～59歳（78.7%）を除いて、8割を超えている。

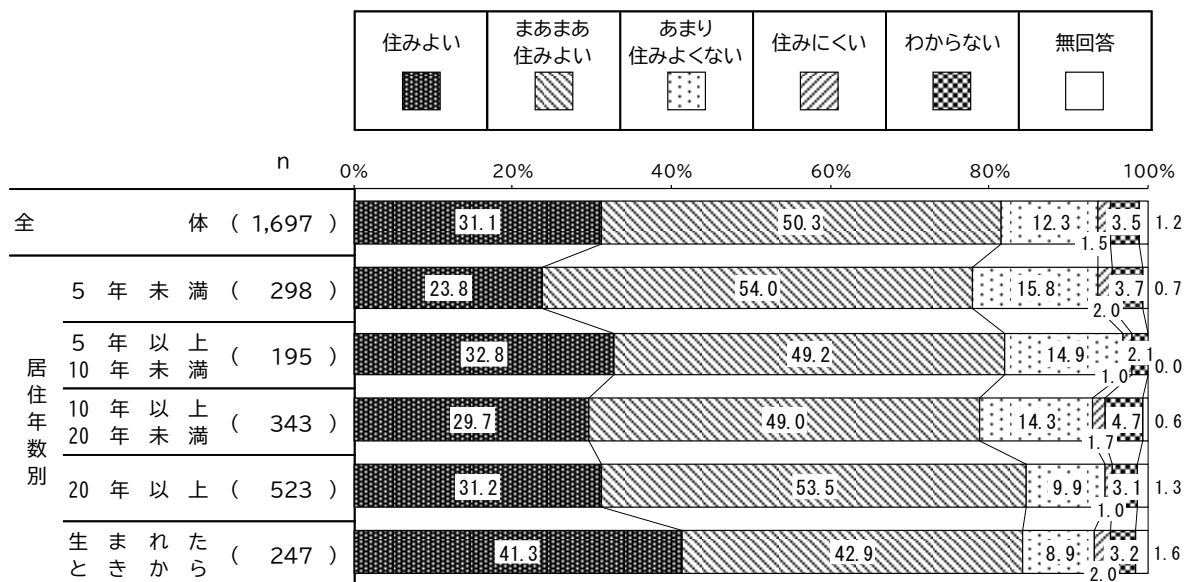


図Ⅲ－13 船橋市の住みごち（性別／年齢別）



【居住年数別】

居住年数別にみると、「住みよい」は生まれたときから（41.3%）が最も高いが、「住みよい」と「まあまあ住みよい」を合わせた『住みよく思う』人の割合は、20年以上（84.7%）が最も高くなっている。

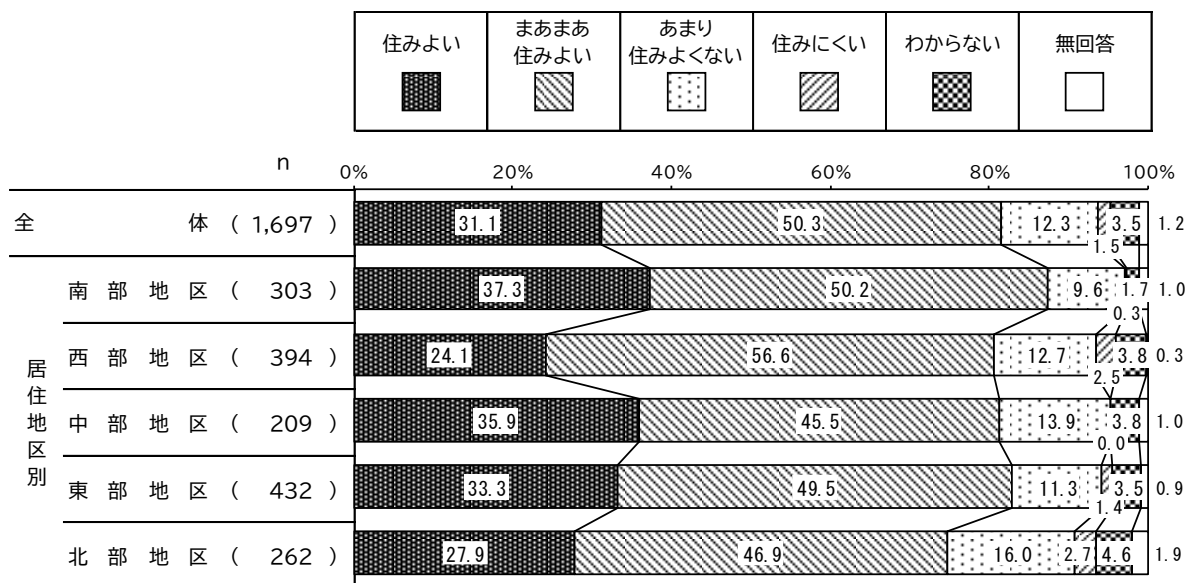


図Ⅲ－14 船橋市の住みごち（居住年数別）

【居住地区別】

居住地区別にみると、「住みよい」の割合は、南部地区（37.3%）が最も高く、西部地区（24.1%）で最も低くなっている。

「住みよい」と「まあまあ住みよい」を合わせた『住みよく思う』人の割合は、北部地区（74.8%）を除いて、8割を超えている。



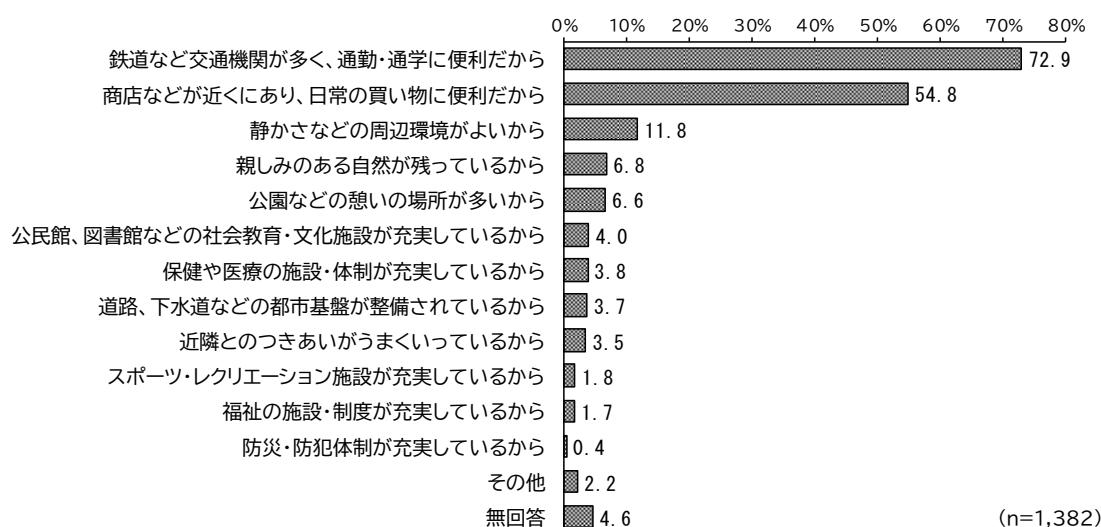
図Ⅲ－15 船橋市の住みごち（居住地区別）

(3-1) 船橋市が住みよい理由

「鉄道など交通機関が多く、通勤・通学に便利だから」住みよいが7割超  
 (問3で「1. 住みよい」または「2. まあまあ住みよい」とお答えの方)  
 【問3-1】住みよいと感じるのはどのようなことですか。(〇は2つまで)

船橋市の住みごちについて「住みよい」、「まあまあ住みよい」と答えた人(1,382人)に対して、その理由を聞いたところ、「鉄道など交通機関が多く、通勤・通学に便利だから」が72.9%で最も高く、次いで「商店などが近くにあり、日常の買い物に便利だから」(54.8%)までが5割を超えており、これらを理由として挙げる人が多い。

「その他」としては、「生まれ育ったところ・住み慣れたまちだから」(7件)、「ゴミの分別が楽・簡単だから」(4件)などが挙げられている。



図Ⅲ-16 船橋市が住みよい理由

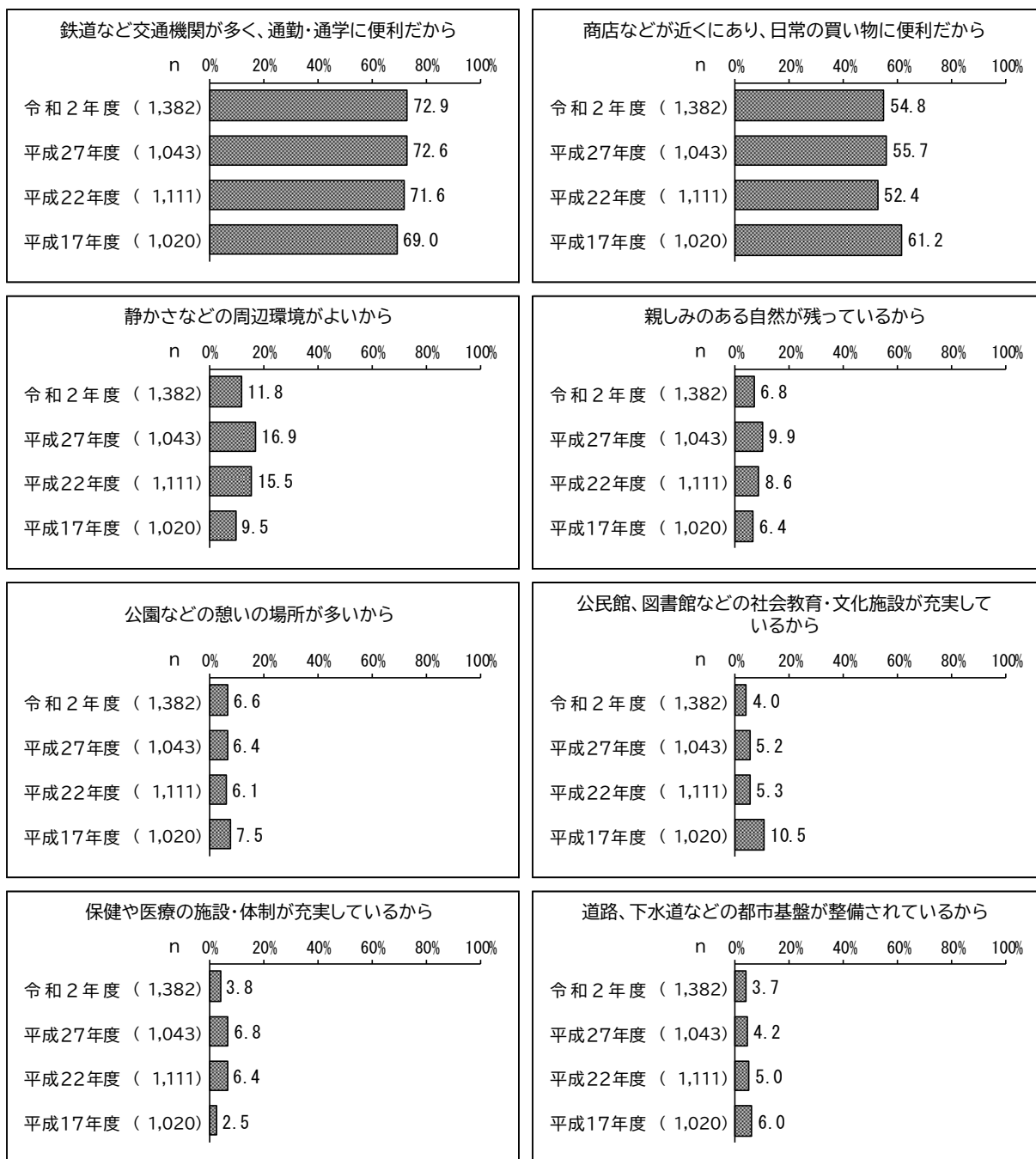
表Ⅲ-1 「その他」の内訳

| 「その他」の内容                     | 件数 |
|------------------------------|----|
| 生まれ育ったところ・住み慣れたまちだから         | 7  |
| ゴミの分別が楽・簡単だから                | 4  |
| まちと田舎が適度に共存・自然も充実しているから      | 2  |
| 東京に近い・都心に近いから                | 2  |
| 会社が近いから                      | 2  |
| 市役所窓口の多さと時間が長いから             | 1  |
| 市役所やFACEで手続きをする際、対応が早くて親切だから | 1  |
| 子どもが多く活気があるから                | 1  |
| 子育て世代に優しいから                  | 1  |
| 水害の心配が少ないから                  | 1  |
| 住民税が安いから                     | 1  |
| 千葉ジェッツふなばしがあるから              | 1  |
| おいしい飲み屋があるから                 | 1  |
| ショッピングモールが充実しているから           | 1  |
| 家族と支障がないから                   | 1  |
| なんとなく                        | 1  |
| (記載なし)                       | 2  |
| 合計                           | 30 |

【時系列比較】（上位8項目）

住みよい理由として挙げられている割合が高い上位8項目について、時系列で比較すると、「鉄道など交通機関が多く、通勤・通学に便利だから」については、年を追うごとに理由として挙げられる割合が増え、今回は72.9%となっている。

半面、「商店などが近くにあり、日常の買い物に便利だから」、「公民館、図書館などの社会教育・文化施設が充実しているから」、「道路、下水道などの都市基盤が整備されているから」などは減少傾向が見られる。



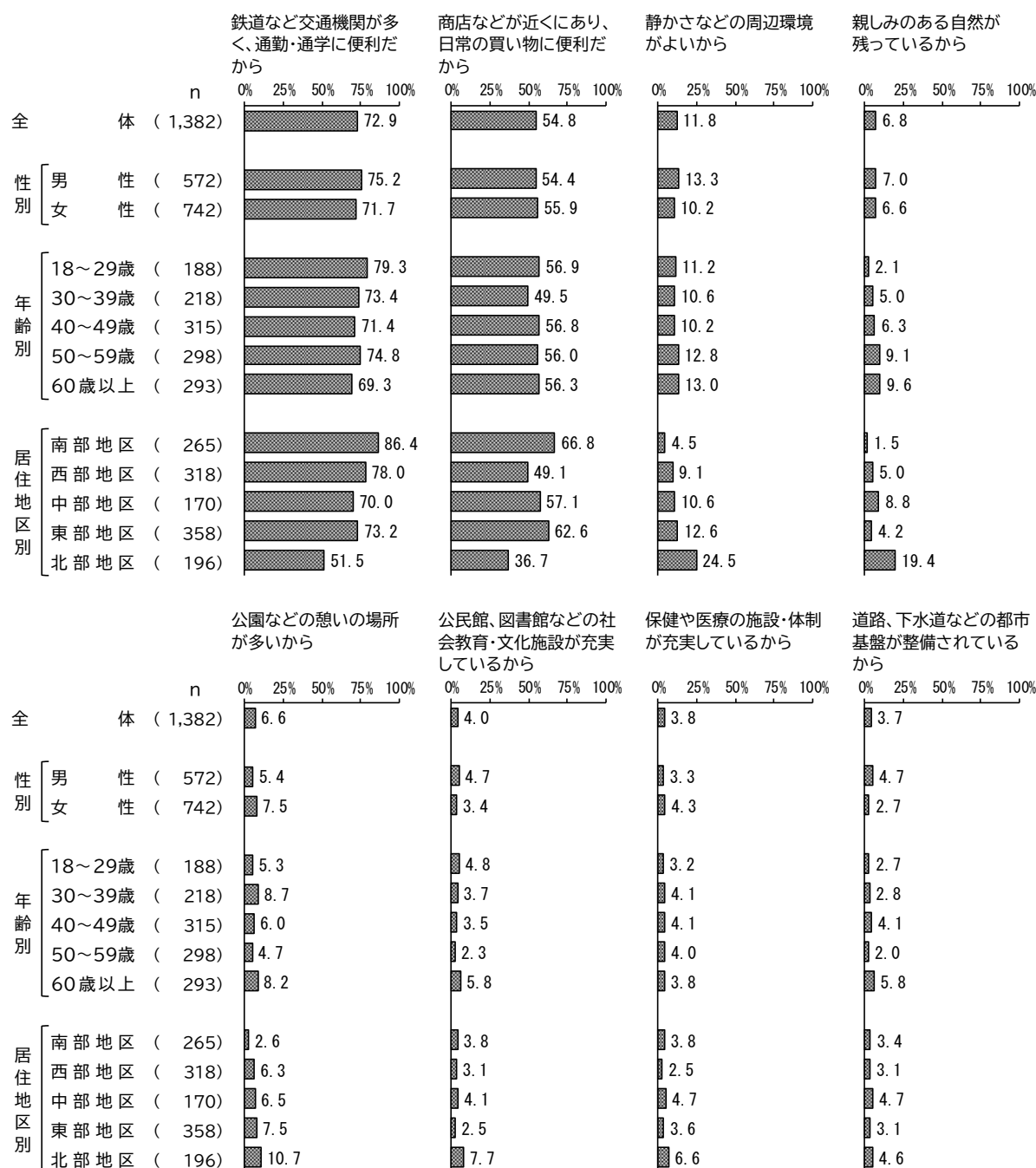
図Ⅲ－17 船橋市が住みよい理由（時系列比較）（上位8項目）

【性別／年齢別／居住地区別】（上位8項目）

性別で比較すると、「鉄道など交通機関が多く、通勤・通学に便利だから」で男性（75.2%）が女性（71.7%）より3.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、18～29歳で「鉄道など交通機関が多く、通勤・通学に便利だから」が79.3%と最も高いが、「親しみのある自然が残っているから」は2.1%と最も低くなっている。一方、60歳以上では「鉄道など交通機関が多く、通勤・通学に便利だから」で69.3%と最も低い、が、「親しみのある自然が残っているから」は9.6%で最も高くなっている。

居住地区別にみると、「鉄道など交通機関が多く、通勤・通学に便利だから」、「商店などが近くにあり、日常の買い物に便利だから」、「静かさなどの周辺環境がよいから」、「親しみのある自然が残っているから」で南部地区（86.4%、66.8%）、「静かさなどの周辺環境がよいから」、「親しみのある自然が残っているから」で北部地区（24.5%、19.4%）の割合が高く、地区別の特色が見られる。



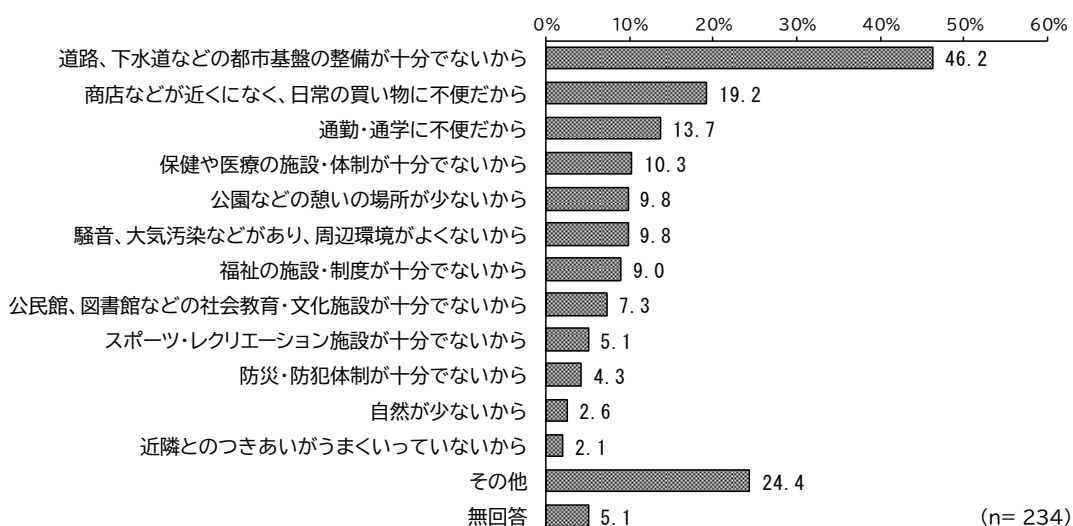
図Ⅲ－18 船橋市が住みよい理由（性別／年齢別／居住地区別）（上位8項目）

(3-2) 船橋市が住みにくい理由

「道路、下水道などの都市基盤の整備が十分でないから」住みにくいが4割超  
**(問3で「3. あまり住みよくない」または「4. 住みにくい」とお答えの方)**  
**【問3-2】住みよくないと感じるのはどのようなことですか。(〇は2つまで)**

船橋市の住みごちについて「あまり住みよくない」、「住みにくい」と答えた人(234人)にその理由を聞いたところ、「道路、下水道などの都市基盤の整備が十分でないから」が46.2%で最も高く、次いで「商店などが近づくに近く、日常の買い物に不便だから」(19.2%)、「通勤・通学に不便だから」(13.7%)、「保健や医療の施設・体制が十分でないから」(10.3%)が続いている。

「その他」の内容として、「渋滞が激しい・道路が混んでいるから」(26件)、「道・車道・歩道が狭い・歩道がないから」(15件)などが挙げられている。



図Ⅲ-19 船橋市が住みにくい理由

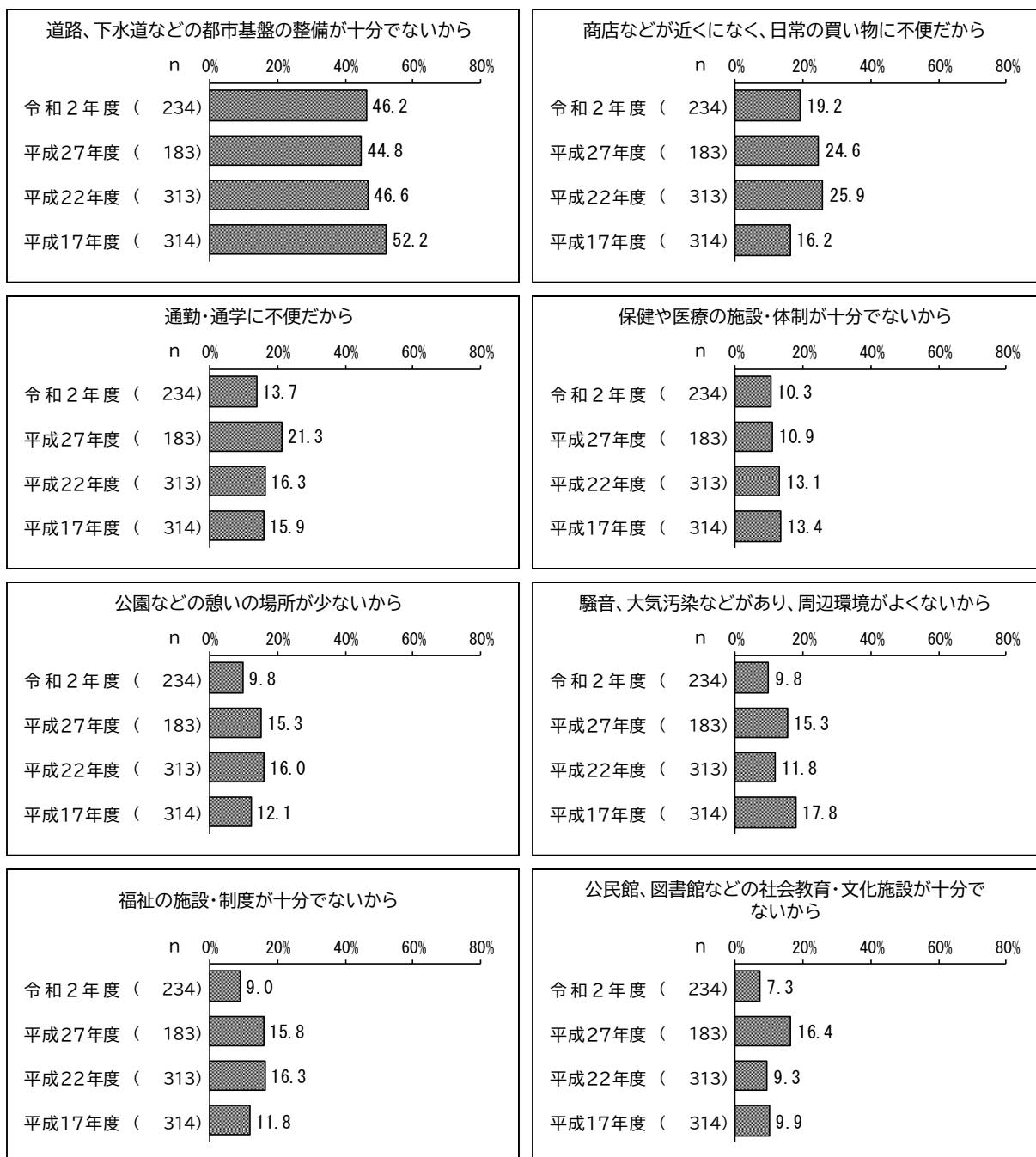
表Ⅲ-2 「その他」の内訳

| 「その他」の内容                    | 件数 |
|-----------------------------|----|
| 渋滞が激しい・道路が混んでいるから           | 26 |
| 道・車道・歩道が狭い・歩道がないから          | 15 |
| 主要機関・施設が偏っている・遠くてアクセスしにくいから | 5  |
| 人口過多だから                     | 4  |
| 待機児童が多いなど子育て環境が良くないから       | 4  |
| 電車の運賃が高すぎるから                | 3  |
| ゴミの回収が少ないから                 | 2  |
| 税金・地方税が高いから                 | 2  |
| その他                         | 8  |
| (記載なし)                      | 3  |
| 合計                          | 72 |

【時系列比較】（上位8項目）

理由として挙げられている割合が高い上位8項目について、時系列で比較すると、全体での割合が最も高い「道路、下水道などの都市基盤の整備が十分でないから」に大きな変化は見られない。

「公民館、図書館などの社会教育・文化施設が十分でないから」は、平成27年度（16.4%）から9.1ポイント低下し、「通勤・通学に不便だから」は、平成27年度（21.3%）から7.6ポイント低下、上述以外の他の項目も平成27年度と比べると「道路、下水道などの都市基盤の整備が十分でないから」以外は低下している。



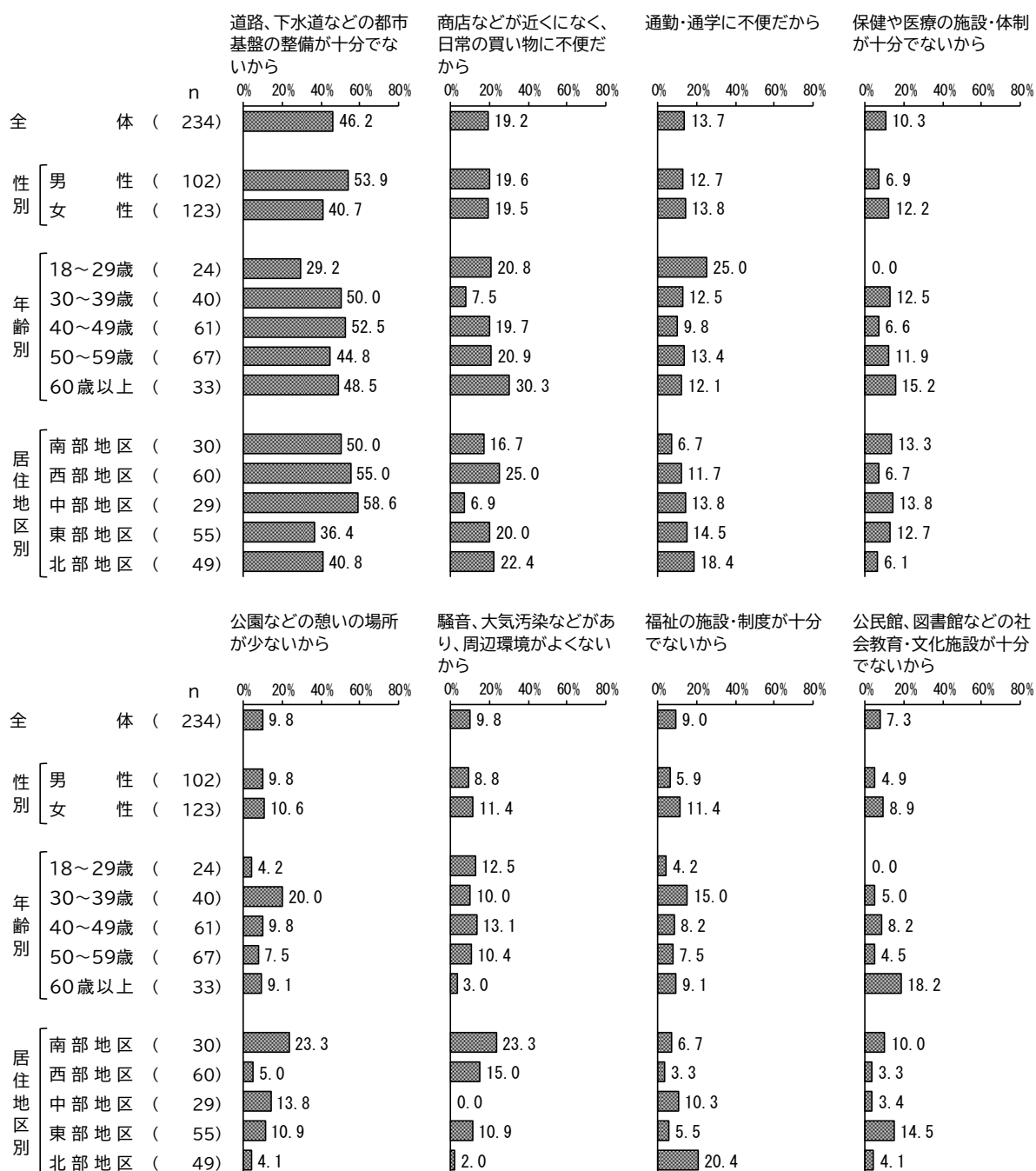
図Ⅲ－20 船橋市が住みにくい理由（時系列比較）（上位8項目）

【性別／年齢別／居住地区別】（上位8項目）

性別で比較すると、「道路、下水道などの都市基盤の整備が十分でないから」は、男性(53.9%)が女性(40.7%)より13.2ポイント高くなっているが、「商店などが近づく、日常の買い物に不便だから」を除く他の項目では女性の割合が高い。

年齢別にみると、「道路、下水道などの都市基盤の整備が十分でないから」では、40～49歳(52.5%)が最も高く、18～29歳(29.2%)では最も低い。また、「商店などが近づく、日常の買い物に不便だから」の60歳以上(30.3%)、50～59歳(20.9%)、「通勤・通学に不便だから」の18～29歳(25.0%)などの割合が高い。

居住地区別にみると、南部地区は「公園などの憩いの場所が少ないから」、「騒音、大気汚染などがあり、周辺環境がよくないから」（ともに23.3%）、北部地区は「福祉の施設・制度が十分でないから」（20.4%）などの割合が高く、地区による差が見られる。



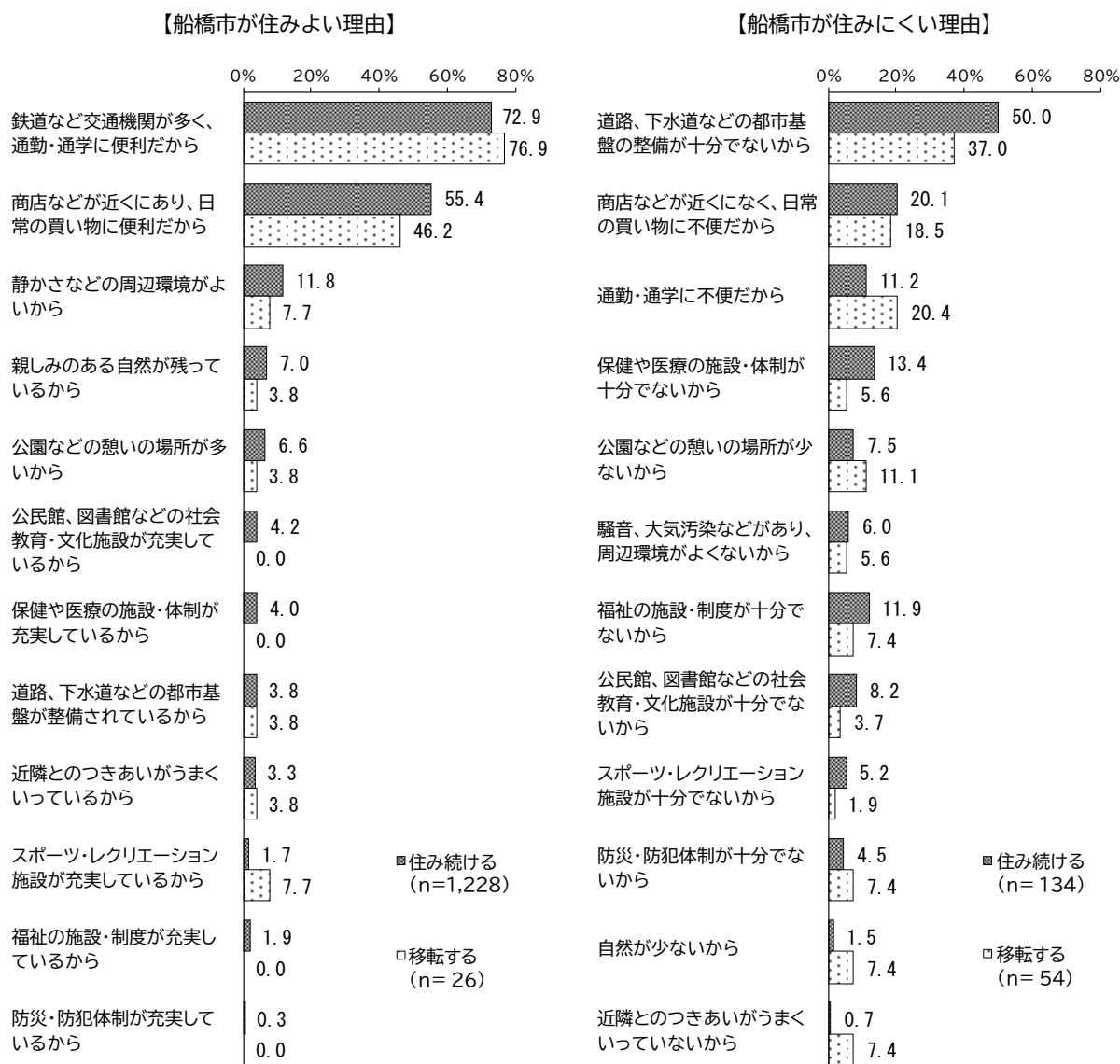
図Ⅲ－21 船橋市が住みにくい理由（性別／年齢別／居住地区別）（上位8項目）

### (4) 「住みごころ」概観

“通勤・通学、日常の買い物に便利”など利便性が高評価の一方、“道路、下水道などの整備が不十分”など都市基盤の整備が問われる

定住意向（「住み続けたい」と「しばらくは住み続けたい」を合わせて『住み続ける』、「できれば移転したい」と「移転したい」を合わせて『移転する』）から船橋市が住みよい理由をみると、「商店などが近くにあり、日常の買い物に便利だから」で、『住み続ける人』（55.4%）が『移転する人』（46.2%）より、9.2ポイント高くなっている。同様に船橋市が住みにくい理由についてみると、「道路、下水道などの都市基盤の整備が十分でないから」で、『住み続ける人』（50.0%）が『移転する人』（37.0%）より、13.0ポイント高い。一方、「通勤・通学に不便だから」では、『移転する人』（20.4%）が『住み続ける人』（11.2%）より、9.2ポイント高くなっている。

定住意向に関わらず、「鉄道など交通機関が多く、通勤・通学に便利だから」、「商店などが近くにあり、日常の買い物に便利だから」を住みよい理由に、「道路、下水道などの都市基盤の整備が十分でないから」を住みにくい理由に挙げる人が多い。



図Ⅲ-22 船橋市が住みよい理由・住みにくい理由（定住意向別）